

IT Audit Applications

FOR ACL

ACLによって、システムアクセスプロファイルが読まれ、500人以上のユーザーの実際のユーザー設定と比較されました。その結果、システムへの不適切なアクセスと著しく問題のある部門が明らかとなりました。

成功しなかったハッキングやシステム障害の日常的な発生も、別の組織によって暴露されました。さらに分析が重ねられ、エラーや疑わしい個人が特定されました。

ACLソフトウェアソリューションを使用する組織は、ビジネスプロセスと財務レポートの基礎をなす業務処理の正確性と完全性に自信を持つことができます。IT監査でACLの技術を使用すると、コンピュータリソースの正しい導入、運用、管理に集中できます。IT監査人は、ACLソフトウェアの使用によって、統制およびセキュリティの独立した検証と評価、リスクアセスメントとビジネスインパクト分析の実施、運用とシステム性能の改善を実現できます。IT監査コミュニティで、ACLのデータ分析技術が使用される理由は、以下のとおりです。

- 監査分析をサポートするデータのアクセスと収集のプロセスを簡略化
- 共通のユーザーインターフェース（「同一の視点」）により、メインフレームアプリケーションからPCデスクトップアプリケーションまで、多数の異種システムからの大量データを素早く分析
- データを複雑に相関させ、システムプラットフォーム間でデータの整合性を比較
- ERPなどのエンタープライズシステムでのアプリケーションレベルの統制とは関係なく、内部統制の有効性を独立して検証することで、さまざまな法規制の遵守をサポート
- 不適切な職務の分離を明らかにする
- さらに調査や修正が必要なエラー、異常、例外を適時に特定
- データの抽出や照合よりも、IT機能のリスクベースアセスメントなどの付加価値のあるアクティビティに重点を置く
- IT監査の効率を上げ、少ない時間とリソースを最も有効に使用

以下のIT監査の領域では、ACL技術を使用すると、生産性を上げ、監査範囲を拡大できます。

実証性テスト

- サンプルングではなく、必要な業務処理データの100パーセントをテスト
- 特定の取引を識別（高い値、低い値など）
- データ内の異常な値を検出
- 情報喪失や重複のあるデータを識別

データ整合性の評価

- データの入力に一貫性がなかったり、データが喪失している箇所を特定
- 重要情報が不完全または不正確な箇所を明らかにする

システムアクセスセキュリティのテスト

- システムアクセスセキュリティとユーザープロフィールをテストし、検証
- 適切なユーザー特権を確認
- 異常な動作についてシステムログイン（時刻、継続時間、頻度）を分析
- システムセキュリティログとWebログをレビュー
- 職務の適切な分離を独立して確認
- データベース、オペレーティングシステム、およびアプリケーションにおけるシステムレベルの統制について、以下の検証を行う
 - ・ユーザーIDの有効性の確認
 - ・重複ユーザーIDの特定
 - ・「古い」パスワード、ありふれたパスワード、または簡単に分かるパスワードの特定



システムリソースの利用

- システムの立案と最適化のサポートとして、システムリソースの利用状況（過少利用か、過剰利用か）を評価
- システムベンチマーク分析を行い、データロードエラーの率を評価
- システムログを分析して、システムのエラーまたは障害の傾向を特定

システムの変換と統合

- システムの変換、移行、および統合時に監査査定とレビューを行う
- 完全性と正確性について、元のシステムと新たに導入されたシステムのデータを比較
- 元のデータと出力データをテストして、データの喪失や破損なしで移行が達成されたことを確認
- 修正の対象となるエラーや矛盾を特定
- 新規または一般のアプリケーションにロードする前に、レガシーシステムまたは複数のシステムからのデータの変換、補正、再構築、統一、および統合を行う
- 新システムのフォーマット要件に準拠してデータを統一

財務/ビジネスプロセス監査のサポート

- データ分析技術の活用により、組織の監査レビューの全領域（財務、運用、ビジネスプロセス、その他の形式の査定）に必要なデータを効率的に査定または抽出

SAPへ移行する40以上の個別システムからのデータを自動的に分析および準備するため、ACLが使用されました。そのプロセスで、ACLは無数の重複した無効なデータエントリを特定しました。

ある大手電力会社では、2,000万を超える顧客データレコードを含むデータウェアハウスプロジェクトにおいて、抽出/加工/書き出し(ETL)プロセスでACLを使用することにより、予測されていた時間を半分に短縮し、予測されていた予算(100万ドル)の何分の1かで費用をまかなうことができました。

ACL Services Ltd.について

ACLの開発元であるACL Services Ltd.は、監査・統制業務、財務管理の分野におけるビジネスアシュアランス分析を提供する世界的なリーディングカンパニーです。1987年の創業以来、コンピュータを利用した監査テクノロジーにおけるマーケットリーダーとして、監査業務の専門家から常に高い評価を受けてきました。全世界に広がる顧客には、フォーチュン100企業中の95社、グローバル500企業中の2/3、4大会計コンサルティング、さらに各国政府、州政府、地方自治体などが含まれています。現在、150か国を超える国と地域、215,000以上のライセンスユーザーに利用されています。

※ACLおよびACLのロゴはACL Services Ltd.の商標または登録商標です。
※その他記載された会社名および製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。
※本カタログは2008年9月現在のものです。記載内容は予告なく変更される場合があります。



Smart Software, Smarter Deployment
株式会社エージーテック

本社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-21-1 昭栄神田橋ビル3F
PHONE:03-3293-5300 (代表) FAX:03-3293-5270

カスタマセンター PHONE:03-3293-5283

名古屋オフィス 〒460-0003 名古屋市中区錦3-5-30 三晃錦ビル5F

URL <http://www.agtech.co.jp/>

※弊社に関するご質問及び製品に関するご購入前のご質問: info@agtech.co.jp

※流通業者の方やOEMIに関するお問い合わせ: sales@agtech.co.jp

開発元



Data you can trust. Results you can see.